

## 今後の取組の進め方について

### 1. 基本構想の策定のスケジュール

3月5日（本日） 第2回十和田湖1000年会議にて基本構想案の協議

↓

基本構想案の提出

↓

先端モデル事業の利用拠点の選定（環境本省）

↓

基本構想、サウンディング結果概要の公表

### 2. 令和6年度の取組予定

※「休屋・休平地区」が利用拠点に選定された場合の想定含む

#### (1) 利用拠点「休屋・休平地区」のマスタープランの検討

検討体制：幹事会で協議。必要に応じて地域WGを開催し、1000年会議で承認。

検討内容：

##### ①年度前半：マスタープラン素案（地区内のゾーニング）

- ・ 廃屋撤去等の取組方針とともに跡地活用の計画を検討
- ・ ゾーニングや利用拠点内での土地活用方針検討（国立公園管理運営計画への反映、文化財保存管理計画改定とも連携）
- ・ 利用拠点「休屋・休平地区」に加え、関係性を整理するため宇樽部地区、大川岱地区含む湖畔全体でのゾーニングも詳細検討
- ・ 素案段階で概要を提示し、民間意見の聴取・ヒアリングを実施

##### ②年度後半：マスタープラン案（ゾーン別の個別アイデアの洗い出し）

- ・ 具体的な参画も想定した民間意見の聴取・ヒアリングを実施

#### (2) インタープリテーション全体計画の検討

検討体制：地域WGで議論し、幹事会、1000年会議に報告。

検討内容：

- ・ 十和田湖地域全体での策定（奥入瀬溪流との連携も含む）
- ・ 詳細資源調査（地形地質、植生、動物、社会）
- ・ 自然体験コンテンツ検討
- ・ 地区別WSの開催

#### (3) 推進体制の検討

検討体制：地域WGに参画するコアメンバー

検討内容：

- ・まちづくり会社等、地域主体の組織と外部の支援のあり方について、情報収集
- ・優先度の高い取組の実証（不動産・人材マッチング、情報一元化 等）

(4) 宿泊施設等、民間事業者の参画促進に向けた検討

- ・民間参画を促進するための枠組みの検討
- ・廃屋撤去跡地の暫定活用等を通じた情報発信

<当面のスケジュール：基本構想案より>

